

学校だより

第16号 ひたちなか市立勝倉小学校
令和6年9月26日(木) 発行
児童数 297名 実家庭234戸



9月20日(金)

3年生が笠間方面へ遠足に行ってきました

検佐陶工房

検佐陶工房さんでは、手ひねり体験をしました。工房の方の説明を聞きながら、お皿、コーヒーカップ、茶碗など、子供たちはそれぞれにイメージをもち、粘土に向き合っていました。思うような形にならず、苦戦する様子もありましたが、それもいい思い出ですね。焼き上がって、作品が学校に届くのが楽しみです。



芸術の森公園

芸術の森公園では、ゆっくりと時間をとってお弁当を食べました。日差しが強く、暑い日でしたが、木陰は風も爽やかで秋を感じることができました。みんなで美味しくお弁当をいただきました。みんな満面笑顔です。



あそびの杜

ふわふわドーム(大きなトランポリン)や、ロングすべり台などの遊具で、子供たちは汗だくになりながら、思い切り体を動かし、歓声を上げて遊んでいました。



陶芸美術館

陶芸美術館では、焼きものについての映像を鑑賞しました。その後、短時間でしたが、常設展やテーマ展で、日頃なかなか見ることのできない素晴らしい作品や大きな作品を鑑賞しました。貴重な体験となったことでしょう。

日立ハイテク&わくわくサイエンスサポーターの先生に授業をしていただきました

今、学校では、民間の方も含め、専門的な知識や技能をおもちの方を外部講師としてお招きし、授業に参加していただいています。本校でも、4年生の福祉に関する学習、1年生、3年生の鍵盤ハーモニカやリコーダーの正しい奏法など、さまざまな学習において外部講師の方にお世話になっています。

9月12日には、日立ハイテク様にお越しいたき、電子顕微鏡を使った授業を5年生で実施しました。学校の顕微鏡が10~100倍程度の拡大なのに対し、お持ちいただいた電子顕微鏡は100~30000倍に拡大できるということで、子供たちは興味をもって髪の毛や花、虫など、様々な物を観察していました。



また、今週は、同じく5年生が、わくわくサイエンスサポーターの先生に、理科「流れる水のはたらき」の授業をしていただきました。外で斜面に溝を掘り、水を流す実験を通して、子供たちは、水の流れの変化によって土がどのように削られ、堆積するのかを実感することができました。

「なぜだろう」と疑問をもったり、「面白そう、はやくやってみよう」と意欲をもったりすることの大切さを、改めて私たちも感じることができました。